

丹後織物

No.
891

2024.1.1

TANGOORIMONO

発行所 丹後織物工業組合 京都府京丹後市大宮町河辺3188 TEL 0772-68-5211 FAX 0772-68-5300 <https://tanko.or.jp>

年頭所感



丹後織物工業組合
理事長
田 茂 井 勇 人



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には、ご清祥のうちに新しい年を迎えたことと、お慶び申し上げます。

さて、先行きが見通せないロシアのウクライナ侵攻に続き、今度はハマス・イスラエルの紛争が勃発するなど世界情勢がさまざまな問題を抱え混沌としている中で、新型コロナウイルス感染症による行動制限からようやく解放され、消費活動の活発化による需要回復に期待を寄せた昨年でしたが、和装業界では、エネルギー価格の高騰や為替の急激な変動による原材料価格の急騰や物価高騰が消費心理を委縮させ、未だ回復の兆しを感じることが出来ない状況が続いています。

丹後産地におきましても和装需要の減退や構造的不況に加え、織物従事者の高齢化に伴う技術継承の課題や織機等の老朽化による生産基盤の弱体化

等、非常に厳しい状況が長く続いているます。

このような環境が続く中で、「丹後織物産地振興ビジョン」に掲げる「消費者に感動を与える商品が生まれる産地」、

「絹織物といえば丹後」、「クリエイティブな商品づくりが可能な産地」として、国内外の流通業者・デザイナー・バイヤーからユーワーまで、多くの方が訪ねたくなる丹後を実現するべく、加

工場の見学ルートの整備や丹後産地の生地やプロダクトが一堂にご覧いただ

ける施設の整備等を順次進めており、自分達で稼ぐ組合・産地を目指し本年も取り組んでまいります。

また、織維業界に高品質で安定した製品を供給するべく、組合加工場の老朽化した設備の更新や高付加価値加工を可能とする機械の導入を進め、さらには加工技術の研鑽、向上を図り丹後

辰年にちなみ、龍のように力強く、そして知恵を出し合い、力を合わせ、新たな丹後を目指してまいりたいと存じますので、組合員の皆様の格段のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきま

さらに、和装を基軸としつつも蓄積された高度な織り、加工技術をファッショニンテリアなどの成長するグローバル市場を視野にチャレンジしていくことで、いま以上に懐の深い拡がりをもつた産地が形成されていくものと考えており、京都府のご支援のもと推進している「シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアム」による各種事業に継続的に取り組んでまいります。

さらに、和装を基軸としつつも蓄積された高度な織り、加工技術をファッショニンテリアなどの成長するグローバル市場を視野にチャレンジしていくことで、いま以上に懐の深い拡がりをもつた産地が形成されていくものと考えており、京都府のご支援のもと推進している「シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアム」による各種事業に継続的に取り組んでまいります。

活力にあふれ誇りの持てる 京都づくりへ



京都府知事

西 脇 隆 俊

明けましておめでとうございます。府民の皆さんにおかれましては、つたがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、まず新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更され、世の中が少しずつ日常生活を取り戻しました。長きにわたり感染防止対策にご協力いただいた府民の皆さん、そして、医療従事者をはじめ関係の皆さんに、心から感謝と敬意を表します。そして、明治以来中央省庁で初となる文化庁の京都移転が実現しました。千年にわたる歴史と文化が日々の生活に息づく京都で国と協力して新しい文化政策を創り上げることは、京都のみならず日本全体の地方創生推進に向けての大きな一步であり、私たちは着実に新たな歴史の扉を開けつつあります。

「進まざる者は必ず退き、退かざる者は必ず進む」。これは、明治時代に活躍した啓蒙思想家・福沢諭吉の言葉です。

目まぐるしく社会が変化を続ける現代において歩みを止めることは、後退するに等しいかもしれません。しかし、時代の変化を柔軟に受け容れながら、受け継がれてきた伝統に常に新しい息吹を吹き込む営みは、これまで京都が脈々と続けてきたことであり、これからも京都が担つていくことです。時には歩みを止めて振り返ることも必要ですが、社会が歴史的な転換点を迎えている中、小さな歩みを積み重ねて大きな前進につなげ、新しい価値を常に生み出し続け、活力にあふれ誇りの持てる京都づくりを進めてまいります。

来年には、いよいよ大阪・関西万博が開幕します。新名神高速道路も全線開通に向け、着実に整備が進められております。私たち京都が得意とする交流の力を発揮して、多くの人、企業、文化の「新しいつながり」を創り、伝統と革新を融合させながら、未来の京都を担う人や企業を育て、文化を創つてまいります。そして、「文化の都・京都」を世界に発信しながら、世界の人たちを京都全域でおもてなししたいと考えております。

年頭所感

京都織物卸商業組合
理事長

野瀬 兼治郎

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて昨年は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類相当に移行、3年超の長きに亘った制限下を脱し、本格的に社会経済活動の正常化に向けて走り出した年となりました。

規制の緩和や為替の円安基調を背景に、大企業の業績は前年同期を大幅に上回り、日経平均株価は33年ぶりにバブル期を超える最高値を更新しました。また、百貨店売上高は年間を通して前年同月を上回り、首都圏の主要百貨店では過去最高売上を記録しました。

今年は辰年です。雲を払い、蒼天に向かって昇つていく龍のように、私たちに託された京都の未来に向けて、京

界に発信しながら、世界の人たちを京都全域でおもてなししたいと考えております。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

都府総合計画に掲げた一つ一つのプロジェクトを大きく動かしてまいります。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

ものの日の11月15日は、全日本きもの振興会の呼び掛けにより全国各地できもの着用を促進する為に様々な事業が実施されていますが、京都では六角堂を会場に200名のきもの姿の方にお越し頂き、丹後の白生地をご覧頂く機会を設けました。いずれも4年ぶりに沢山の方にお集まり頂いて盛大に事業を執り行うことが出来ました。多くの方が集い、笑顔で会話を交わす姿は何物にも代えがたく、厳しい時期を過ごしたからこそ感じられた喜びであつたと思います。

歴史を振り返りますと、その時代時代の節目には幾多の困難が訪れ、先人たちはその都度知恵を絞り、力を合わせて苦難を乗り越え、新たな時代を切り拓いてきました。歴史に残るパンデミックが収束し、以前とは異なるステージが始まつて早1年が過ぎようとしていますが、この間、私たちは苦しめた時に蓄えた様々な英知を結集し、平常を取り戻すために不斷の努力を続けてきました。ここからは更にギアを上げて、成長へのスピードを加速させ、新時代を創り上げていくことが私たちに課せられた使命です。サプライチエーン全体で共存共栄の関係を強固なものし、皆様と共に想いを一つに取り組んで参りたいと思います。

結びにあたり、本年が皆さまにとって良い年でありますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。



西陣織工業組合
理事長

— 鶴舞 雄 —

新年的あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

西陣織工業組合は、昨年、前身の西陣織物業組合が明治16年に発足して140年、また、昭和48年に旧西陣三組合(西陣織物工業組合、西陣着尺織物工業組合、西陣毛織工業組合)が合併して設立されて、50年の節目を迎えるました。

この長きに亘り、伝統の織物業を続けて来られたのも、先人たちの努力と、これを支えていた大変多くの皆様方のおかげだと存じています。改めて敬意を表し、感謝を申し上げます。

一方で、私たちの業界は、近年の生活様式の多様化や消費者のきもの離れ、商慣行の問題等により、年々売上高が減少し、また、関連工業を含めた従事者の高齢化や後継者難により、組合員数は年々減少傾向にあり、今なお減少が続いています。加えて、コロナ禍の影響や、不安定な海外情勢による原油高

流れを確かなものにしてまいります。また、産地連携にも力を入れてまいります。日本を代表する京都の染織産地の京友禅と丹後織物の組合と3者合同で、今年2月に、好評だった昨年に引き続き、第2回目の「染と織の展覧会」を東京・銀座で開催し、和装業界の再構築に努めてまいります。

引き続き、皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

今年一年の皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

西陣織工業組合は、昨年、前身の西陣織物業組合が明治16年に発足して140年、また、昭和48年に旧西陣三組合(西陣織物工業組合、西陣着尺織物工業組合、西陣毛織工業組合)が合併して設立されて、50年の節目を迎えるました。

こういった傾向から少しでも脱却できよう、また、疲弊した産地を鼓舞し、組合員を元気づけるために、一昨年(2022年)には、「西陣呼称555年記念事業」に取り組み、西陣産地の認知度向上に努め、将来に続く持続可能な産地づくりを目指しているところです。

さらに、今年度は組合内に新たに「新市場開拓委員会」を立ち上げ、組合事業として、和装以外の分野にも積極的な展開を図っています。

3年振りに西陣織会館で開催しました「西陣織大会」に併せて、「新市場開拓作品展」を開催し、東京で開催された「ジャパン・クリエーション」出展企業の展示ブースや、50軒以上の組合員の生地を使つた150点のバッグ類を一堂に展示するなど、新しい展開を図つて参りました。次年度も引き続き、この



地域活性化の実現に向けて

日本が誇る伝統文化の継承、次代への挑戦



京都北都信用金庫
理事長

藤原 健司



株式会社 京都銀行
取締役頭取

安井幹也

明けましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行し経済活動が正常化に向かう一方、物価の上昇や世界経済の減速などが景気の下押し要因となり景気回復の実感に乏しい1年となりました。

京都府北部地域の経済は、当金庫が実施した令和5年7～9月期景気動向調査によると、全業種の業況判断D・Iは前回調査(令和5年4～6月期)と比べて1・1ポイント上昇の△26・1となり2四半期連続の改善となりました。が、売上の停滞・減少、原材料高、人手不足などが引き続き経営課題となっています。

このような厳しい環境の中、貴組合は絹糸の元となる繭に含まれる成分の一つ「絹セリシン」を配合した新ブランド「Dear COCOON オールインワンジエル」を発売されました。また、10月には「第74回丹後織物求評会」を盛大に開催され、同時に創業300年を越える丹後ちりめんの歴史と文化を披露する精練工場のオープンファクトリーも開催されました。これまでに培われた技術力と丹後織物の魅力の発信により、国内外の新たな市場開拓や販路拡大など今後のさらなる発展を期待しております。

当金庫は、「地域元気宣言」を掲げ、「地域活性化の実現」に向け様々な取り組みを行っております。お客さまが抱えておられる経営課題の解決と本業支援に向けて、副業・兼業プロ人材活用事業、補助金・助成金の申請支援、事業承継支援などに努めています。

本年も「地域活性化の実現」に向けて、誠心誠意取り組んでまいります。

結びにあたり、丹後織物産業のますますの発展と、皆さまのご繁栄ご健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

2024年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により諸制約が解除され、我が国の経済活動は正常化に向けて動き出し、日経平均株価が33年ぶりの高値を付けるといったように、着実に回復の兆しが見え、多くの方々の努力によつて新たな成長の道を歩み始めております。

丹後織物産業は一部で厳しい状況が続いておりますが、創業300年を超える長い歴史の中で、地域産業の発展に貢献してきた丹後ちりめんは、次代の成長へ向けた一歩を踏み出し始められており、丹後織物工業組合もその歴史と伝統を背景に、新たな「挑戦」を続けられています。

2024年は経済の持続的な成長が期待される一年となります。物価高や人手不足、賃上げ、脱炭素といった社会的課題への対応、地政学リスクに基づく海外経済の減速など、依然として先行き不透明な部分も残りますが、それらの変化にも柔軟に対応し、丹後ちりめんが世界に誇る技術力を国内外に強く発信し、その伝統を後世に継承していくために、新しい成長への「挑戦」に取り組まれてることを、心から讃

すことはできません。2022年に続

き開催された丹後万博2023や、产学連携によるアップサイクル事業など、次世代を担う若者たちの意欲的な取り組みは、丹後地域の持続可能な成長の源泉となっております。

コロナを経て人々の価値観や行動様式が変わった部分もありますが、これまで長きにわたる歴史の中でも、生活様式や産業構造の変化といった大きな転換点を乗り越え、丹後ちりめんは日本が誇る伝統文化として在り続けています。

丹後ちりめんは、伝統的な技術力と文化力を活かし、新たな展開を図ることで世界的な注目を浴びる存在となりました。また、若い世代の活躍も見逃すことはできません。2022年に続

え申し上げます。

当行におきましては、昨年10月に京都都ファイナンシャルグループを設立し、持株会社体制に移行いたしました。「新しい波を起こせ」というメッセージを掲げ、従来の銀行業を超えて、地域の成長牽引し、とともに未来を創造する総合ソリューション企業として、お客様の多様化する課題解決に貢献してまいります。地域の産業振興や地域への投資支援など、地域経済の活性化にも積極的に「挑戦」していくとともに、丹後地域をはじめとする地域社会の繁栄に奉仕するため、私たちは一丸となつて地域の皆様のご期待に応え、これからも持続可能な地域社会づくりに邁進してまいります。

何卒、本年も宜しくお願い申し上げますとともに、みなさまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年の挨拶とさせて頂きます。

業界においては、昨年6月に商工中金法の改正法案が国会において成立し、2年内に政府保有株式の全部が処分され、商工中金の業務範囲が見直される一方で、株主資格制限や特別準備金制度、危機対応業務の責務など、必要な各種の措置は維持されることになりました。そして、法改正を機に企業理念(パートナーシップ)である「企業の未来を支えていく。日本を変化に

いります。地域の産業振興や地域への投資支援など、地域経済の活性化にも積極的に「挑戦」していくとともに、丹後地域をはじめとする地域社会の繁栄に奉仕するため、私たちは一丸となつて地域の皆様のご期待に応え、これからも持続可能な地域社会づくりに邁進してまいります。

令和6年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、経済活動が正常化に向かう一方で、原材料価格の高騰や人手不足感の高まり等、国内外の経済の先行きに不透明感が大きく高まりました。さらに、中小企業の過剰債務解消に加え、政府が進めるカーボンニュートラルへの対応、自然災害に備えた事業継続計画の策定など、中小企業の経営課題は、従前にも増して多様化してきています。

私ども商工中金においては、昨年6月に商工中金法の改正法案が国会において成立し、2年内に政府保有株式の全部が処分され、商工中金の業務範囲が見直される一方で、株主資格制限や特別準備金制度、危機対応業務の責務など、必要な各種の措置は維持されることになりました。そして、法改正を機に企業理念(パートナーシップ)である「企

業の未来を支えていく。日本を変化にいります。

つよくする」を皆さまとのお約束として定款にも規定しました。

社会情勢や中小企業の経営課題が大きく変化する中、商工中金法改正の趣旨を踏まえ、中長期的に中小企業が直面する経営課題を踏まえ策定した中期経営計画に基づき、これまで以上に様々なニーズにお応えできるようサービス、機能を強化してまいります。

具体的には、主要戦略として「サステナビリティのシフト」、「差別化分野の確立」「企業変革」を設定し、課題解決に向けて取り組むお客様に対しても、様々な経営リソースを提供することを通じて、総合的な課題解決力を發揮し、変化による企業経営をお客さまとともに実現してまいります。

また、こうしたビジネスモデルを支える屋台骨として、引き続きコンプライアンスの徹底や内部管理態勢の強化に取り組むとともに、職員の能力を最大限に發揮するため、ダイバーシティの推進やインクルージョンを徹底してまいります。

年頭所感



株式会社 商工組合中央金庫
京都支店 支店長

花 谷 智 隆



入賞作品決定!!

TANGO TEXTILE EXHIBITION

第74回 丹後織物求評会開催

10月18日(水)～21日(土)に亘り、「TANGO TEXTILE EXHIBITION 第74回丹後織物求評会」を組合敷地内の特設会場及び加工場にて開催しました。本年は『-深遠なる創造性-』をテーマに、伝統ある丹後産地で織り継がれた匠の技の粹を集め、斬新かつ創造性に富む作品の数々を提案しました。



10月18日には、多数のご来賓の出席のもとオープニングセレモニーをはじめ、同日発売した新スキンケアブランド「Dear COCOON」の発表を行い、当イベントが開幕しました。



10月18・19日の2日間は第74回丹後織物求評会審査会を開催し、組合員22社から出品された121点の作品を「表地部門」・「裏地部門」・「小物部門」・「先染部門」・「テキスタイル部門」の5部門に分け、2日間の来場者の投票による審査を行った結果、栄えある経済産業大臣賞に先染部門から「紋紗」(松田織物有限会社)が受賞するなど、9賞11点の入賞作品が選出されました。(入賞一覧は以下のとおり)

10月20・21日は、基幹産業に対する「誇り」の再醸成を図っていくことを目的に組合員29社から出品された347点(求評会出品作品を含む)の作品を一般公開し、一般消費者並びに地域住民に丹後で製織される織物を広くPRしました。

今回、精練工場のオープンファクトリーの実施(10/18～10/20のみ)、BtoB向け工房見学受入、丹後Eva(絵羽)alohaプロジェクトの展示、ワークショップなど盛りだくさんのイベントを開催し、業界関係者のみならず組合員や地元住民の方々など、4日間で延べ550名の来場者があり盛会のうちに終了しました。

また、来場者によるリアル投票及び10月31日までのオンライン投票(WEB及びインスタグラム投票)を実施し、特別賞2点(あなた好み特別賞・伊達男(ダンディズム)きもの賞)を決定しました。

1月中旬には、出展者による次年度検討会を実施しますので、出展者の皆様にはご参加をお願いいたします。

入賞作品

賞 名	部 門	品 名	出 品 者
経 済 産 業 大 臣 賞	先 染	紋 紗	松 田 織 物 有 限 会 社
中 小 企 業 庁 長 官 賞	小 物	モール縫取り 水玉	前 滿 織 物
経 済 産 業 省 製 造 産 業 局 長 賞	表 地	染帯 十字華紋	株 式 会 社 ワタマサ
"	テキスタイル	THE KYOTO MEISTER COLLECTION “禪”	安 田 織 物 株 式 会 社
農 林 水 産 省 農 産 局 長 賞	先 染	レース絆ヨロケ	松 田 織 物 有 限 会 社
近 織 経 済 産 業 局 長 賞	表 地	金彩入り絹透綾	田 勇 機 業 株 式 会 社
京 都 府 知 事 賞	小 物	帯揚 チャーチアート	株 式 会 社 ワタマサ
"	小 物	帯揚 菱 Coffee	株 式 会 社 ワタマサ
京 都 織 物 卸 商 業 組 合 理 事 長 賞	裏 地	洗える SHIDORI 機械 カーネーション	柴 田 織 物
日本絹人織織物工業組合連合会理事長賞	小 物	紋半襟 縫い取り 梅重ね	株 式 会 社 糸 利
日本絹人織織物工業会会長賞	表 地	絵羽アロハ用 紋意匠ちりめん	田 勇 機 業 株 式 会 社

【特 別 賞】

あ な た 好 み 特 別 賞	テキスタイル	NOMADIC TEXTILE 003	P A R A N O M A D
伊 達 男 ・ き も の 賞	男のきもの	幾何学プレート	江 原 产 業 株 式 会 社

今回の企画展示・キッチンカーについてご意見

- 会場はオシャレ感が出て良かつた。もつと丹後の若い人や学生に見ていただけたら良いと思つた。

○以前の展示より見やすかつた。

今回の企画展示・キッチングターについてご意見

○キッチングターで一息つけるところがあり、とても良いと思う。まずは人が集まる環境が大事だと思う。



ご来場者の展示についてのご意見

- アロハの展示、デザインについての展示パネルがとても興味深かつた。
 - おもしろかったので、年に何回かさたらしい。都度、行きたいと思つた。
 - 去年より多く出店されて賑わつていた。
 - キッチンカーはワクワクする。
 - 若い世代もますます活躍できる産地になることを期待している。
 - これからも様々な情報発信を頑張ってほしい。
 - 薄地が多くなつた。温暖化と原料高が原因か。上手に織りこなしておられると思う。
 - 京都市内、東京都内で求評会をやつてもらいたい。
 - これまでやり取りしたことがない企業の商品を見ることができた。今後、関係を構築できるきっかけになりそう。

当イベント・丹後産地全体に対す
るご意見

- アロハの展示・デザインについての展示パネルがとても興味深かつた。

○おもしろかったので、年に何回かさった。

○去年より多く出店されて賑わっていた。

○キッチャンカーはワクワクする。

○業者、来客ともに若い世代が目に付いた。

○今後も常にアップデートできる産地になつてほしい。

○後継者不足の対応。

○一度にこれだけの生地を見る機会がなかつたので、解説があつたこともあり、知識が増えた。

○他産地に比べ、革新的で可能性を感じる。更なる飛躍を期待している。

○見せ方やデザインによつて、さらに魅力的になるものも沢山あると思う。

○販売部門もバラエティ豊かで可愛いものなどたくさんあると思う。今後も丹後に色々なデザインが増えれば、ブランド力がアップすると思う。

○地域の雇用と産業を支える丹後織物。今後も全力で支援するとともに連携、協力もお願ひする。

○これからは着尺以外の用途で生地を作ることも生き残りに必要かと思うが、きものユーチャーとしてはきもの用の良い反物作りが途絶えてほしくないと感じた。

○きものが着られるイベントをして欲しい。私もきものが着たい。

○もつとたくさんの人に丹後ちりめんが着てもらえるようになればいいな

○若い世代もますます活躍できる産地になることを期待している。

○これからも様々な情報発信を頑張つてほしい。

当イベント・丹後産地全体に対するご意見



オンライン投票者のご意見

- 日本だけでなく、世界に出ても誇れる技術をもつているとと思う。またそれを支える地力が丹後の風土、文化であると思う。

○特に近年個性的な機屋が魅力的。問題は人不足。

○絹の商品が広く知られると良い。

○外国人への宣伝。

○丹後ちりめんの誇らしい技術や素晴らしいきものの技術がもっとと広まると丹後人として嬉しく思う。

○日常の暮らしやファッショனにも馴染むような雰囲気が増えると、より身近に感じられると思う。

○産地が長く続いてほしい。

○きものは日本人の衣装なのでなくなることはないが、減少していくことは否定できない。きもの生地の最大産地で生活する一人として、いつまでもきものファンでありたい。

○本物を手に取ると、その高い技術と素晴らしさに息をのむ。このような素晴らしい丹後織物をもつと日本中に、世界に発信してほしい。

○他の地場産業ともより有機的につながり、丹後地域の観光ポテンシャルを最大限に發揮することに期待している。

○さまざまなものから丹後の魅力があふれている作品ばかりである。

- ◎織りだけで表現できるインパクトある素材&男物を期待する。
- ◎会場に行けない場合もたくさんの素材を一堂に見たい。もう少しあくさんエンタリーしてもらえるとありがたい。丹境外の多くの人にも丹後の素材を見てもらいたい。
- ◎掛け軸になるような緻密な織物も見たい。
- ◎皆さんのおかげで、きものを感じている。これからも素敵な作品を楽しみにしている!
- ◎一般人も、気軽に参加できるイベント開催はとてもありがたい。とても興味深く、現地にも行きたいと思った。
- ◎海外の人も注目している丹後ちりめんをはじめ、他の織物もまだまだ可能性が沢山あるので、どんどん世に出してほしい。
- ◎もつと町の中にアートとして織物に触れる機会をつくってほしい。
- ◎今年は会場に行けなくて残念だったが、今後の発展を願っている。
- ◎売り手はお客様の足元を見ず、謙虚に。織り手の希少な技術を守り業界の信頼を取り戻してほしい。
- ◎伝統に敬意を払いつつ、常識にとらわれず、日本の織物産業に新しい風を吹き込んで、さらにおもしろくなついくことを期待する。

丹後織物求評会ほか各表彰式を挙行



去る12月25日開催の当組合理事会の席上において、「第74回丹後織物求評会」及び令和5年度「丹後ちりめんきもの大賞」の表彰式を執り行い、各受賞者に田茂井理事長より表彰状及び副賞が授与されました。

**丹後織物求評会
経済産業大臣賞受賞の松田織物(有)
松 田 忍 氏 (京丹後市大宮町)**

なお、「丹後の職人」認定制度における認定は、原則として関係団体や組織等よりの推薦された方を組合の認定委員会で審査の上決定するといいますが、残念ながら今回、推薦がありませんでした。

丹後ちりめんきもの大賞

「丹後ちりめんきもの大賞」は、丹後地域において業界に大きく貢献しているきもの愛好家などを表彰するもので今回、1名の方が表彰されました。

(一社)茶道文化振興会着付部 みやび流和装道 宗家
牛田 育絵氏 (与謝野町・76歳)

1974年に「牛田育枝着付け教室」を開設し、地元の婦人会、機業主婦の会などの着付け教室で指導するとともに、各地で開催されるきものイベントの着付け担当として活躍。2002年より「みやび流和装道宗家」として活動されています。現在は、宮津市主催の着付け教室や地元の中学校での浴衣着付け教室で講師として指導されているほか、マナーの指導や丹後産地の歴史などを紹介されています。2012年1月より宮津市の成人式着崩れ直しボランティアを開始され、現在も継続して実施されています。

また、(一社)全日本きもの振興会「きもの文化検定1級」に合格するなど、多彩な知識、技能を持っておられます。

きもの着用歴は、横須賀市の着物着付教室に通い本格的に着付けを学ばれた頃からで、現在も何かあればきもの姿で外出されており、着用歴は50数年になられます。

着付け講師として「着る楽しみ」「着せる喜び」をモットーに指導を続けておられるほか、帯結びの楽しさを表現するため「帯人形」を作成し各地で展示会を開催されるなど幅広く活躍され、業界の振興・丹後ちりめんの普及に大きく貢献いただいています。



丹後ちりめん祭り開催

丹後ちりめん祭り(丹後ちりめん祭り実行委員会主催)が11月3日にアミティ丹後、4日に組合の特設会場および加工場出荷エリアを会場に開催されました。4日の会場では丹後織物求評会の入賞作品等の展示を行ったほか、着物研究家シーラ・クリフ氏＆雑誌「七緒」編集長 鈴木康子氏のトークショーやマリンバとシブキ染めパフォーマンス等が敷地内にて実施され、多くのきものファンや地域の方々が集いました。

■2023年11月3日(金・祝)

会場:アミティ丹後

内容:丹後ちりめん小唄踊り・アートパフォーマンス「身体と羽衣」・きものファッショショーンショー「丹後の粋」・

シーラ・クリフ氏講演・キモノdeディスコ・繭の糸引き・ステンシル体験・手織り体験など

■2023年11月4日(土)

会場:丹後織物工業組合 特設会場・加工場出荷エリア他

内容:シーラ・クリフ氏＆「七緒」編集長トークセッション・マリンバとシブキ染パフォーマンス・ワークショップ・模擬店



2日～4日にかけては、「着物」や「伝統産業」に関心のある外国人の方を対象に丹後ちりめん祭りインバウンドモニターツアー(シーラ・クリフ氏＆雑誌「七緒」編集長と巡る丹後ちりめんツア)も実施されました。

雑誌「七緒」のWEBコラムでは、丹後ちりめんや丹後ちりめん祭りに関する記事が三部作シリーズでアップされています。是非ご覧ください。

●第1弾記事(公開中)シーラさんとめぐる

「七緒のきもの旅」DAY1

ちりめんのふるさと・京丹後へ

<https://www.president.co.jp/nanaoh/article/column/4879/>



「第二回 京都 染と織の展覧会」出展!

～絹の輝き、金色の新しい風～

令和6年2月、西陣織・京友禅・丹後織物の三産地合同の「第二回 京都 染と織の展覧会」を東京・銀座で開催し、30社が新作織物や染色作品などを出展します。丹後産地からは3社が出展しますので、ご来場いただいた際は是非、丹後ブースへお立ち寄りください。皆様のご来場をお待ちしております。

また「京都きものフェスティバル」にて、展示品の販売や卸商社、小売店様への提案も行われます。

催事開催要項

◆日 程:2024年2月2日(金) 13:00～18:00、3日(土) 10:00～18:00、4日(日) 10:00～16:30

◆会 場:時事通信ホール(東京都中央区銀座5-15-8時事通信ビル2階)

◆主 催:京都 染と織の展覧会実行委員会(西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、丹後織物工業組合)

◆参加事業者:川八工場(小間No.5)/柴田織物(小間No.6)/コウジュササキ株式会社(小間No.30)

同時開催

京都伝統工芸マーケット

手書き工芸品、帯地を使った小物、和ろうそく等、京都の魅力ある工芸品の展示

伝統工芸職人による実演コーナー

京友禅の金彩加工の実演、西陣織手織り職人のすくい織の実演

※入場には、入場料(前売¥1,000、当日¥1,200)が必要となります。
入場券は右記ウェブサイトからお求めください。当日券は、会場にて販売しています。(現金のみ)

京都 染と織の展覧会実行委員会
公式サイト <https://kyotokougei.com/>



せんば適塾
マッチングツアー vol.11

丹後織物産地を知る ～京都府丹後ちりめんツアー～開催

去る12月8日、せんば適塾※(事務局:大阪府商工労働部・関西ファッショントン連合)主催のマッチングツアーが3年ぶりに丹後で開催されました。

午前中には組合の加工場見学、展示商談会(ツアー参加者と丹後事業者との交流事業)を開催し、午後には3事業所を訪問し交流を行いました。

京都府織物・機械金属振興センターの徳本氏には、現在開発中のスマートテキスタイル(プログラミングと連動するテキスタイル)も披露していただきました。

展示商談会では積極的な商談が行われ、すでに事業者へサンプルオーダーや生地オーダー、問い合わせが入っており、今回の交流が今後丹後の事業者と参加者との事業のマッチングに繋がることが期待されます。

■日 時/2023年12月8日(金) 10:00 ~ 16:30

■訪問先/丹後織物工業組合・(株)ワタマサ・丹菱(株)・create ebara silk&cafe

■ツアー参加者/申込13名(当日参加者10名)+事務局4名(参加者:アパレル・服飾
雑貨ブランド・和装小物ブランド・染色加工・メディア・学校関係等)

■丹後事業者/(株)伊藤平・(株)大江・創作工房糸あそび・田勇機業(株)・丸仙(株)
宮眞(株)・(株)山藤・由里機業場・京都府織物・機械金属振興センター
(参加事業社9社)



※せんば適塾とは、大阪から日本の繊維・ファッショントン産業の新生を目指し、2010年10月5日(せんいの日)に有志が集まり立ち上げた団体であり、参加者間のコラボレーションの取組みを創出し新商品や新事業の開発を支援するプラットフォーム事業。業界横断的な交流の場を設け、企業間連携が自主的に促される場の提供を行い、新たなビジネスの創造を目指している。

首都圏での展示商談会事業 丹後織物総合展 「JFW JAPAN CREATION 2024」へ11社が出展!



去る10月31日(火)・11月1日(水)、東京国際フォーラムにて開催された「JFW JAPAN CREATION 2024」へ丹後の事業者11社が出展しました。

本展示会は日本最大の繊維総合見本市であり、高感度・高品質・高機能などの付加価値の高い日本製品を一堂に揃え、多角的に情報とトレンド素材を知ることが出来るビジネスの場となっており、丹後産地から11社が出展し、伝統に培われた技術と多種多様な繊維の総合産地として進化を続ける丹後地域の技術力商品力を全国に向けてPRを行いました。

今回は組合ブースを設け、来訪者へ組合ホームページでの産地説明と加工技術紹介を行うなど、精力的に広報活動に努めました。また、新ブランド「Dear COCOON」オールインワンジエルのサンプル付きリーフレットを来場者に配布し、幅広い世代に向け新商品をPRしました。また、TANGO CREATION PLATFORM事業にて制作したHAORIと組合員から預かった新商品などプロダクト商品を展示しました。

参加企業: 11社

臼井織物株式会社/株式会社大江/柴田織物/
創作工房糸あそび/タカモトシルク有限会社/
田勇機業株式会社/丸仙株式会社/宮眞株式会
社/株式会社山藤/遊絲舎/丹後織物工業組合



【出展者数】

JFW-JC2024: 217社
(うち海外8社)

PTJ2023A/W: 71社
(うち海外13社)

【入場者数】

約11,000人

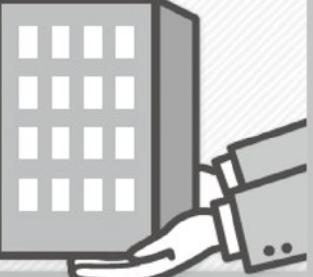
広告

経済産業省 近畿経済産業局 実証事業
京都府 事業承継・引継ぎ支援センター

\ ゼロからはじめる / 秘密厳守 公正中立 相談無料

事業承継

事業承継・引継ぎ支援センターの活動目的は「円滑な事業承継」のお手伝いです。ご相談事業者へのヒアリングや調査を通じて、事業承継の課題や経営課題などの洗い出しや解決のお手伝いをします。



事業承継・引継ぎ支援センターは、全国的な課題となっている事業承継問題の解決を図るために国(近畿産業)が各都道府県に1カ所ずつ(東京には2カ所)設置しているもので、京都府域では京都商工会議所が事業を受託して「京都府事業承継・引継ぎ支援センター」として活動をしています。

当センターでは、京都府全域を支援するために京都府などの行政をはじめ、公的支援機関(商工会議所・商工会など)や金融機関、士業団体と連携しております。

お問い合わせは、当センターへお電話を頂くか、最寄りの商工会・商工会議所までお願いします。

ご都合に合わせて、専門スタッフが御社までお伺いして、ご相談をお聞かせ頂きます。

京都府事業承継・引継ぎ支援センター
京都市下京区四条通室町通東入 京都経済センター7階 京都商工会議所内
☎ 075-353-7120 mail : sjb@kyo.or.jp



広告

CGS2フォーマット対応ジャカードコントローラー

佐和染織工芸 ハリサ工業 エイチ・ケイ・サムテック ダイレクトジャカードにも
エイチ・ケイ・サムテック SEJ電子ジャカードにも
これまでのフロッピーディスクを使用しないCGS2フォーマット規格に対応した
コンパクト設計のコントローラーです。
光ファイバー仕様の佐和式ダイレクトジャカード・電子ジャカードに対応します



USBメモリーで製織 CGS2 Mini コントローラー

既存コントローラーの改造も可能で織戻し一枚戻し三枚戻し等今まで通り操作することができます
USBメモリーに保存した複数の紋紙データーを読み出して製織できるようになります
主な操作機能・特徴
一枚送り一枚戻し三枚戻し織戻し織戻し時交換(杼箱)合わせ先頭呼出し越番指定呼び出し
越番加算・減算呼出し繰り返しカウンター停止信号外部APF信号戻し
USBメモリーに保存したCGS2データを製織時に読み込み稼働します(製織準備時間30秒以内)
USBメモリーに最大80柄まで保存・選択制織可能
エンジレス2000回転200rpmまで対応(どちらか片方上限値)
OS・ハードディスクを使用しない専用基板高信頼設計低消費電力



佐和染織工芸の伝統と技術の継承

これまでに国内1万台以上の実績 国内ダイレクトジャカードのスタンダードです
エイチ・ケイ・サムテックは紋織リジャカード装置を通じて製織現場の信頼性を支え続けてまいります

製品のお問い合わせ先

丹後地区代理店	梅田機料品店	京丹後市網野町浜詰 678-29	0772-74-0616
	小牧機料店	与謝郡与謝野町算所 463	0772-43-1121
	丹後ダイレクトサービス	与謝郡与謝野町幾地 1652	0772-42-4413
	ダイレクト・今井	与謝郡与謝野町石川 2324	0772-42-4445
	フナト機工有限会社	京丹後市網野町浜詰 678-33	0772-74-0347

製造元

有限会社エイチ・ケイ・サムテック 岡山県美作市北山1001 0868-73-6166



編集後記

○新年あけましておめでとうございます。
昨年はコロナ禍から経済活動の正常化が進んだが、物価高騰の動きは収まらず厳しい状況が続いた一年だった。
2024年は甲辰(きのえたつ)。甲辰は「成功」という意味があり、「姿を整えていく」という意味があり、新しいことが成功したり、今まで努力してきたものが実を結ぶと言われている。コロナ禍で長い間苦労した分が取り戻せる年になればと願う。
(M)

精練体験・染色体験に使用する生地を募集します!

加工場にて精練体験・染色体験を4月よりスタートする予定です。この体験で使用する生地を下記の内容にて募集します。

- 着尺の場合 1メートル 2,000円(税別)
- 小物の場合 1掛け(1.7メートル) 2,000円(税別)

※ 募集する生地は本絹生地です。(原則は1社1点です)

※ 消化仕入を考えております。

この件に関しましては、説明会を2月上旬に開催する予定です。令和6年1月31日(水)までに、下記お問い合わせ先へご連絡ください。多くの問い合わせをお待ちしております。

【お問い合わせ先】TEL 0772-64-2490 加工場 場長 名定まで

旧岩滝加工場 残置物をお譲りします

2020年3月末をもって閉鎖しました岩滝加工場の建物内にある備品等の残置物について、組合員限定にて無償でお譲りします。

つきましては、場内の備品等を見ていただく内覧会を実施しますので、ご興味のある方はご来場ください。

なお、譲渡品はご自身でのお引き取りを条件とさせていただきます。

また、お引き取りは下記の内覧日当日またはお引き取り日にお願いいたします。お引き取りに来られなかった備品等は、組合にて処分させていただきます。

内覧日 令和6年1月29日(月)

※予備日2月5日(月) 午前9時~午後3時

お引取り日 令和6年2月5日(月)

※予備日2月13日(火) 午後1時~午後3時30分

注)当日の天候により、それぞれ予備日に変更する場合がありますので、判断が難しい場合は当日、組合総務課へお問い合わせください。

【主な備品等】

書棚・ロッカー・鉄製棚・キャビネット・運搬用箱型台車、パレット他

【お問合せ先】総務課 TEL 0772-68-5211